

◎自転車用ヘルメットの主な安全規格

<p>SGマーク</p> 	<p>一般財団法人製品安全協会が製品の安全を確保することを目的とし、衝撃吸収や外観、着用時の安全などを基準として認証された商品。SG マークの場合は1億円までの対人賠償保険がついているのが特徴。</p>
<p>JCFマーク</p> 	<p>JCF 公認・JCF 承認マークは、日本自転車競技連盟の安全基準検査に合格したことを表している。SG基準の他に「ヘルメットの通風性能」について確保する必要がある。</p>
<p>CEマーク</p> 	<p>CE マークはEU(欧州連合)加盟国の安全基準を満たしているものに付けられるマーク。CE マークには【EN000】という基準がそれぞれの商材にあり、【EN1078】が自転車用ヘルメットの安全基準を満たしたものである。ちなみに【EN812】は産業用安全帽の規格。</p>
<p>GSマーク</p> 	<p>GS マーク認証とは、ドイツの機器安全法で定められている法律に基づいた、ドイツの安全性基準を満たした製品に認証されるマークのことである。</p>
<p>CPSCマーク</p> 	<p>CPSC マークはアメリカ合衆国消費者製品安全委員会が定める安全基準。CPSCでは「視野の確保」等、いくつかの検査項目に合格した製品は標準的な安全水準だと認定される。【CPSC1203】が自転車用ヘルメットの安全基準を満たしたものである。</p>